

雨のおかげかな

日々の変化編 桜

今日もいつも通りに桜を見に行きました。一番満開に近くなっているのは正門横に咲いている桜の木です。木の根元をよく見てみると記念碑がありました。そこには「第1回卒業生」と書かれていました。今年度の卒業生が第48回卒業生でした。約50年の間、この知多中学校を見守っているんですね（①②）。

桜の木々はどれも幹の太い立派なものばかりです。その中に高さは大きく育っているのに、幹の細い木がありました。この木は一体何年くらい前の木なのだろうか。この木はここから何年も経つと他の木のように太い幹になるのだろうかと思惑に思いました。（③）

雨の日が続くもやもやとした気持ちの人も多いかもしれません。桜の木を見て回っているとあまり開花の進行が見られません。雨続きのおかげで気温があまり上がらないために遅れているようです。これは、みなさんの入学式、始業式まで待っているのかな（④）。

今日は雨、嬉しい人は少ないのでしょうか。でも、嬉しい動物はいるようです。木の幹をカタツムリが登っています。以前の3年生の道徳の教科書には「ゆっくり登れカタツムリ」という題材もありました。高校1年生から上の先輩たちの教科書です（⑤）。

植物は本当に不思議です。1本の木でもきれいに花が咲いている枝、全く蕾をつけない枝もあります。⑥の右側の枝はきれいに花が咲いているのに、左側は蕾すらありません。そんな蕾をつけない左の枝から新しく生えている枝はきれいに花が咲いています（⑦）。

①



②



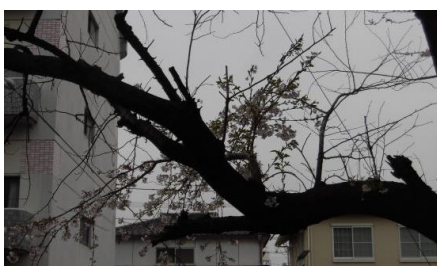
③



④



⑦



⑥



⑤

